図解でわかる接続語・独立語 ｜ 解答

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

図解で確認：接続語と独立語

前の内容 → **接続語** → 後の内容

接続語

- 前後の文や内容をつなぐ。
- 例：だから、しかし、また、つまり、さて。
- 順接・逆接・並立・累加・説明・補足・転換などの関係を表す。

独立語

- ほかの文節に直接係らない。
- 呼びかけ、応答、感動などを表す。
- 例：はい、ああ、先生、さあ。

見分けるコツ：接続語は「前後をつなぐ」。独立語は「文の中で少し独立している」。読点だけで判断しないようにしましょう。

基本の確認

問1 選択問題

朝は雨だった。**しかし**、昼には晴れた。

ア 接続語　イ 独立語　ウ 修飾語

答え　ア

解説：接続語は前後の内容をつなぐはたらきをする。

問2 選択問題

はい、すぐに準備します。

ア 接続語　イ 独立語　ウ 述語

答え　イ

解説：独立語はほかの文節に直接係らず、応答や呼びかけなどを表す。

接続語の役割・独立語の種類

問3 選択問題

宿題を終えた。**だから**、本を読んだ。

ア 逆接　イ 順接　ウ 転換

答え　イ

解説：前の内容が理由となり、後の内容につながっている。

問4 選択問題

山本さん、この本を貸してください。

ア 呼びかけ　イ 感動　ウ 応答

答え　ア

解説：相手に呼びかけている語句なので、呼びかけの独立語。

早見表：接続語の関係

関係	はたらき	おもな接続語
順接	前が理由・原因、後ろがその結果	だから・それで・すると
逆接	前から予想されることと反対の内容が続く	しかし・だが・ところが
並立・累加	並べる・つけ加える	また・そして・それから・しかも
対比・選択	比べる・どちらかを選ぶ	または・それとも・あるいは
説明・補足	言いかえる・まとめる・おぎなう	つまり・なぜなら・なお・ただし
転換	話題を変える	さて・ところで・では